

## ケーブルの接続

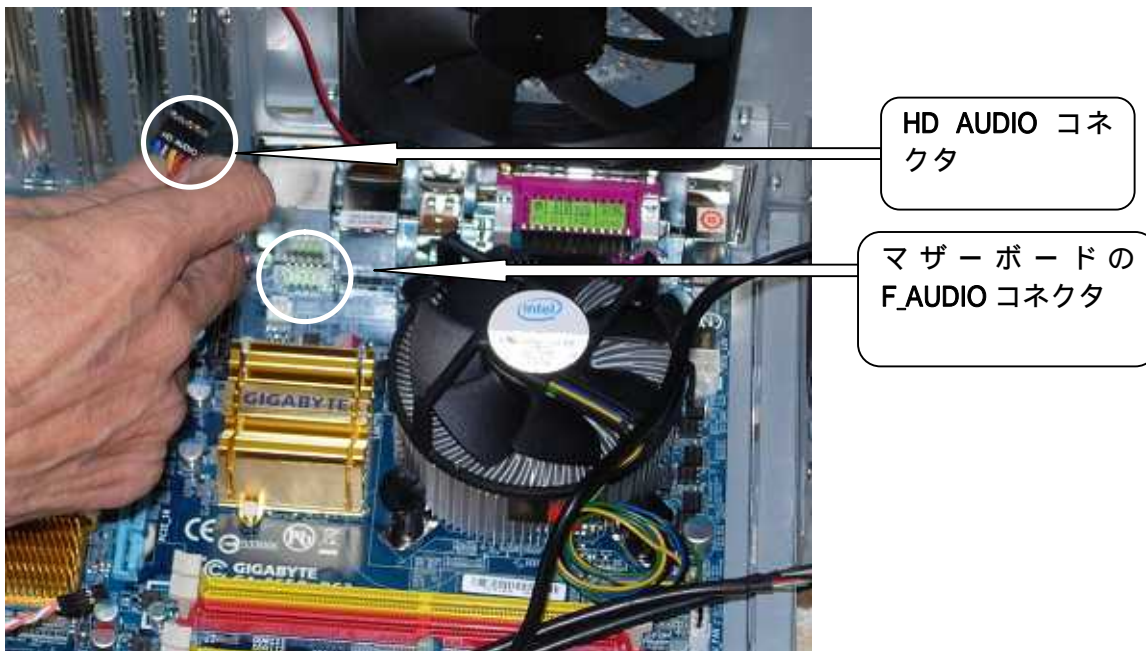
### ケースのフロント部分からのケーブルを接続

ケースには、通常フロントパネルに Power SW、Reset SW、Power LED、HDD LED、USB、システムスピーカー、Audio (スピーカー、マイク) などが付いており、これらからケーブルが出ています。これらのケーブルをマザーボードに接続する順番は特にありません。

Audio ケーブルを接続します。このケーブルには AC'97 と HD Audio の 2 種類のコネクタが付いています。今回は HD Audio を使います。

このコネクタは 10 ピンのうちピンの一つが有りません。誤挿入防止になっています。マザーボードの F\_AUDIO と記してあるコネクタに差し込みます。

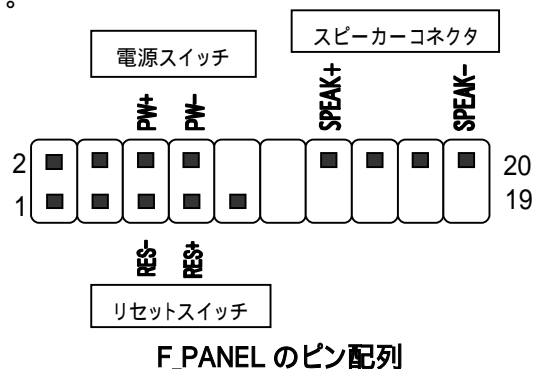
使わない AC'97 コネクタは不要なのでケーブルにケーブルタイで留めておきます。



細いケーブルがケースのフロントからきていますが、Power (赤白) と Reset (青白) のスイッチからです。F\_PANEL のコネクタピンに接続します。

LED はプラスとマイナスの接続を間違えると LED が点灯しませんが、スイッチは LED と異なりプラス、マイナスの接続はどちらにつないでも問題はありません。

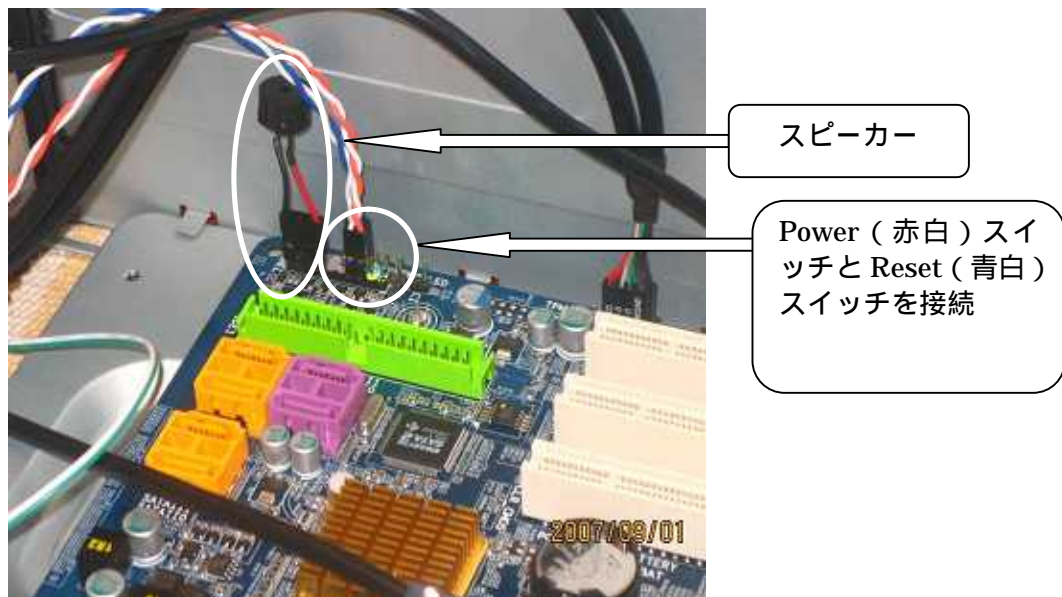
色が付いているのがプラスで白か黒はマイナスです。



スピーカーを同じ場所のピン SPEAK+と SPEAK-に接続します。

Power LED を接続します。この LED は電源を投入すると点灯します。

このケースでは Power LED のケーブルが IDE 機器の電源に接続する 4 ピン型になっていたため IDE 機器の電源に接続する 4 ピンコネクタに接続します。今回はマザーボードの PowerLED (+、-) とは接続しません。



このケースには Power (電源 ON 表示) の LED はありますが、HDD の LED (ハードディスクへのアクセス) はありませんので接続しません。

フロントパネルからの USB ケーブルを接続します。

このケースにはフロントパネルから 2 本の USB ケーブルがあります。

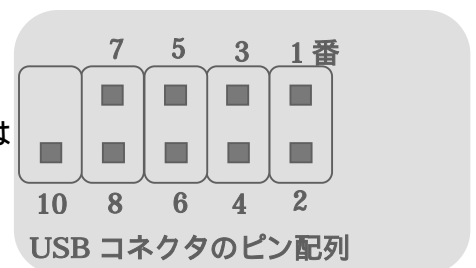
マザーボードにはリア IO パネルにオンボードの USB コネクタ以外に USB 接続用にコネクタピンがあります。

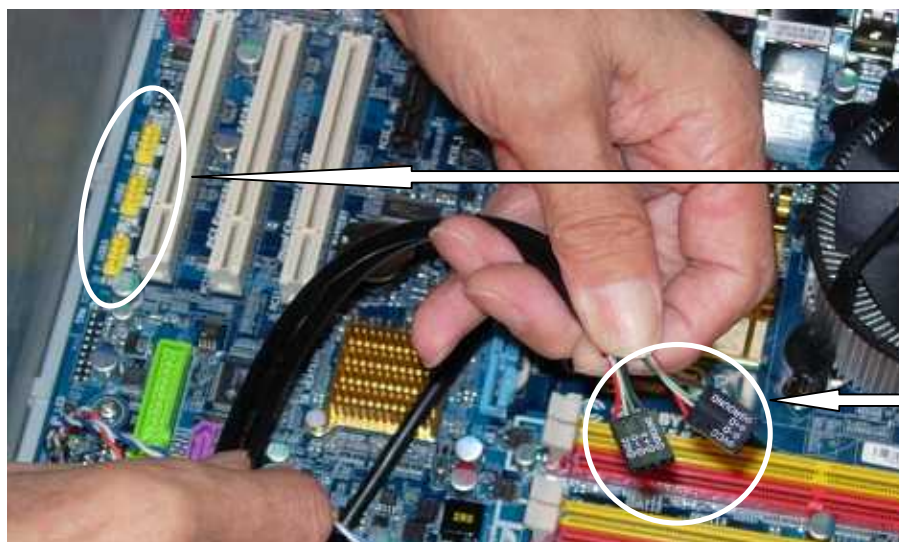
このボードには USB 接続用にコネクタピン 6 組あります。コネクタには VCC -D +D GROUND と記してあります。VCC を 1 番、-D を 3 番、+D を 5 番。GROUND を 7 番または VCC を 2 番、-D を 4 番、+D を 6 番。GROUND を 8 番という具合に接続します。

9 番のところにはピンがありません。

ケーブルの赤い線は VCC です。

このケースではフロントパネルからの USB ケーブルが写真のように VCC -D +D GROUND 4 本束ねられていましたが、ケースによってはこれらがばらばらとなっているものがあります。





このピンに USB ケーブルを差し込む

フロントからの USB ケーブル

### FDD を接続

FDD にはカードリーダーが付いています。このカードリーダーのケーブルは USB に接続します。

FDD 接続には FDD 用のフラットケーブルを使用します。ケーブルのコネクタで線がねじっている方がドライブに接続する方です。コネクタには出っ張りがあります。この部分とボードのコネクタの切り欠きが合うように差し込みます。フラットケーブルの白い色が付いているほうが1番になります。



FDD ケーブルは捻ってある側を FDD に接続する。

風通しを良くし冷却効果を高めるために接続したケーブルはケーブルタイで纏めておきます。軽く締めしておく様にしましょう。

## HDD、光学ドライブ(DVD)は SATA ケーブルで接続

従来、これらの機器は IDE (パラレル転送) でしたが最近ではデータ転送が早い SATA (シリアル転送) となっています。

また、IDE ではケーブル幅が約 5 cm、最大ケーブル長が約 45 cm でした。SATA はケーブル幅が約 0.8 cm、最大ケーブル長が約 100 cm となり、ケーブルが細くなり取り扱いやすくなりました。

コネクタ部分は L 型になっています。

マザーボードにコネクタの番号が記してあります。0 から 3 までの 4 組です。

HDD は **SATAII0** に、DVD は **SATAIII1** に接続します。

コネクタの先端には簡単には抜けないようにストッパーの金属が付いています。差し込むとカチッと音がします。

ケーブルはあらかじめ丸めておいてから接続するのが良いでしょう。

